

支援を必要とする高齢者の 早期発見・早期対応のイメージ

平成 22 年より高齢
者独居・夫婦世帯個別
訪問実施

地域の見守り
《ネットワークの推進》
日常のふれあいの中で、声掛けや見守
りを行います。高齢者が安心して地域
で生活できる身近な支援者です。
【民生委員・町内会・友人・隣人・
地域ボランティア】

平成 23 年、企業商店等を訪問し
て高齢者の見守り意識づけ、個別
サービスへの取り組みについて調
査を実施。高齢者便利帳の作成予
定

地域包括支援センター
《ネットワークの核》
協力機関や地域の見守りからの
連絡で状態確認・緊急対応・各種
制度の利用について調整を行っ
ます。

協力機関
《ネットワークのアンテナ》
業務の中で高齢者の異変に気づき
があれば地域包括支援センターに
連絡します。
【警察・郵便局・銀行・宅配・商店
・介護サービス事業所】

研修会の開催・パンフレット配布。
出前講座での啓発・総合相談

介護サービス機関との定例会議

高齢者見守りネットワークのシステム化

虐待ネットワーク

地域包括
支援センター

SOSネットワーク

平成 22 年度地域包括支援センター研修会内容

- ① 平成 22 年 8 月 3 日（火）
南富良野町保健福祉課
社会福祉法人南富良野町社会福祉協議会
演題「成年後見制度の事例を通して」
課長補佐 東 啓二 様
地域福祉係長 佐々木 佐織 様
- ② 平成 23 年 1 月 24 日（木）
岩見沢市地域包括支援センター
演題「高齢者虐待の事例を通して」
社会福祉士 高橋 通江 様